



北 欧 発



絵本の世界

第 5 回

{ パパが宇宙を
みせてくれた }



発行日：2000年10月10日

作：ウルフ・スタルク

絵：エヴァ・エリクソン

訳：菱木晃子

出版社：BL出版

「ウルフ、いまから宇宙をみせにつれていってあげよう。おまえも、ずいぶん大きくなったからね」——秋の終わりの澄んだ空気の中を、白い息を吐きながら歩いていく父と子。夕焼け空が、少しずつ星空に変わっていく中、お店で非常食を買い、見慣れた街を抜け、水路を飛び越え…二人はある場所にたどり着きます。少年が見た初めての「宇宙」とは？

作者はスウェーデンの現代児童文学界を代表する人気作家、ウルフ・スタルク。現代社会を映し出すテーマを扱い、映画化、戯曲化された作品も多い一方で、自伝的な物語も多く世に送り出し、高い評価を受けています。そしてこの「パパが宇宙をみせてくれた」も、主人公の少年が「ウルフ」であることから分かるように、スタルクの少年時代の、楽しい思い出を描いた作品です。

大好きな息子との初めてのナイトウォークに張り切るパパ。まだ宇宙が何なのかよくわからないけれど、大好きなパパとの時間をワクワクしながら受け止めているぼく。スウェーデンでの出版は1998年なので、当時スタルクは54歳。心の奥深くにずっとしまっていたであろう、愛するパパとの大切な思い出…エヴァ・エリクソンが描く色鉛筆の繊細なタッチも、清々しいストーリーにぴったりです。

最後に微笑ましいオチもあり、それもまた、作られた話ではない、リアルな世界を感じさせるスパイス。日常の中にあるとびきり幸せな親子の時間を、私たちに届けてくれます。

PRESENT

このページで紹介した絵本をプレゼントします。
詳しくはP.26をご覧ください。